

琵琶湖漁業再生ステップアッププロジェクト事業について（赤野井湾での取り組み）

琵琶湖漁業の漁獲量を令和6年に900トンとする目標を掲げ、平成28年から漁業者と連携して琵琶湖等での水産資源と漁場環境の再生に取り組んでいる。

1. 漁場環境の再生：国の水産多面的機能発揮対策事業を活用

- ・漁業者を中心とした活動組織による様々な活動を支援
- ・赤野井湾では以下の3点を中心に実施
 - ①湾口部での湖底耕うん（水草根こそぎ除去）
 - ②ヨシ帯等での外来水生植物駆除やゴミの除去
 - ③外来魚集中駆除

2. 水産資源の回復：種苗放流と効果調査

- ・湾周辺の水田にふ化仔魚を放流
 - ①ニゴロブナ・ホンモロコ各200万尾（平成28-令和2年）
 - ②ニゴロブナ400万尾（令和3年～）
- ・ホンモロコは近年急激に資源が回復
- ・令和3年度からはニゴロブナの放流強化を継続

3. イケチヨウガイ母貝生産の実証調査

- ・漁場でのイケチヨウガイの成長を調査
- ・生後半年以降の貝は順調に成長
- ・生後半年までの稚貝の生残率が低い。

赤野井湾での取り組み

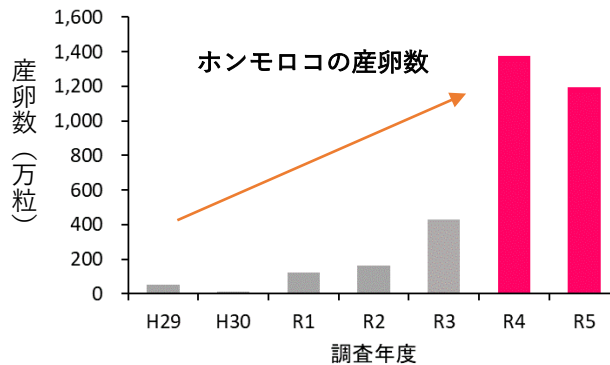
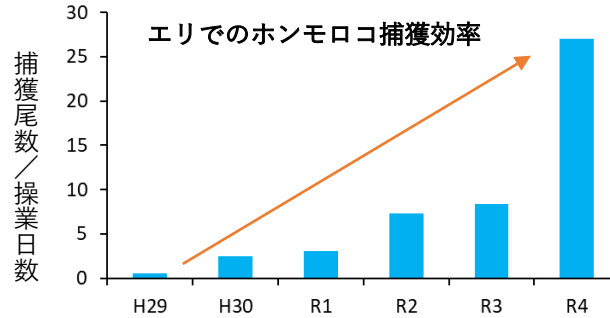
- ・漂着・堆積ゴミの除去
- ・外来水生植物の駆除
- ・外来魚集中駆除
- ・湖底耕うん
- ・種苗放流
- ・真珠母貝生産 等

外来水生植物と外来魚を駆除

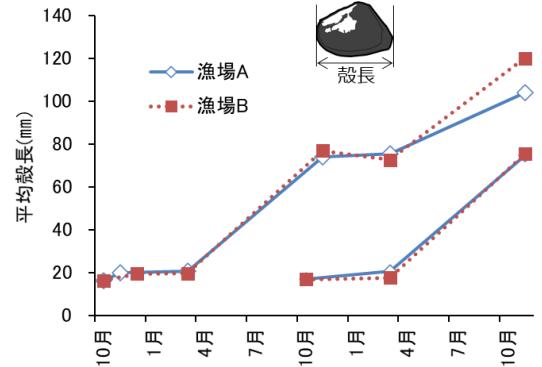
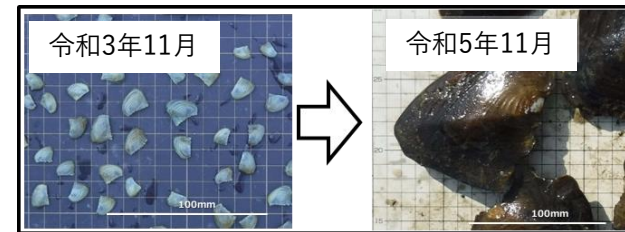
淡水真珠母貝生産

ニゴロブナ仔魚の水田放流
(400万尾)

(公財) 滋賀県水産振興協会 (種苗生産)



生後半年以降のイケチヨウガイは順調に成長



赤野井湾での今後の課題

- ・ニゴロブナの資源回復
- ・イケチヨウガイ稚貝の生残率の向上